

2019年度 入学者受入れの方針に照らした大学入学者選抜の取組の適切性に関する検証

マイステップ・リエゾンポートフォリオ「学びの志ふり返り（学科／研究科専攻の入学者受入れの方針）」のデータを活用した検証です。学科の入学者受入れの方針については、本学ホームページの「教育方針」（下記の URL）をご覧ください。

<https://www.tfu.ac.jp/aboutus/policy/index.html>

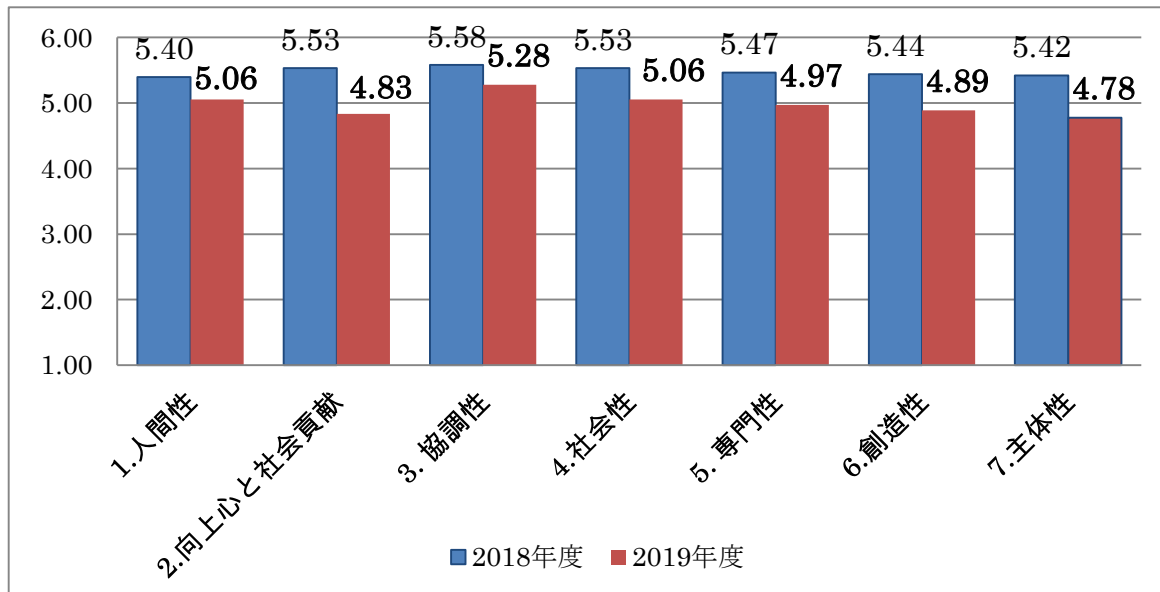
学科・研究科専攻名 リハビリテーション学科

作業療法学専攻 2019年度・回答率 97.2%（2018年度・回答率 100%）。

昨年度と比較すると、全項目でやや低下傾向にあるものの、全て高い水準にある。

本専攻のアドミッションポリシーに対応する 1～7 の各項目について、6 件法（全くそう思わない～非常にそう思う）で回答し、それらを 1～6 点に換算して平均点を算出した。その結果、「1.人間性」5.06、「2.向上心と社会貢献」4.83、「3.協調性」5.28、「4.社会性」5.06、「5.専門性」4.97、「6.創造性」4.89、「7.主体性」4.78 と 7 項目のすべてにおいて中間点 3.5 を大きく上回っており、本専攻が求める学生像が多く入学していることがうかがわれた。

以上より、2019 年度の入学生においては、「入学者受入れの方針に照らした入学者選抜の取り組み」として適切であったと判断した。また、昨年度と比べて受験者が低下し、本専攻に関する更なる広報活動の必要性を感じている。



理学療法学専攻

2019年度・回答率 93.5% (2018年度・回答率 100%)

昨年度と比較すると、今年度は全項目において約 0.5 ポイント上回っており、妥当性のある入学者の選抜を行っている判断した。

本専攻のアドミッションポリシーに対応する 1～13 の各項目について、6 件法 (全くそう思わない～非常にそう思う) で回答し、それらを 1～6 点に換算して平均点を算出した。また、13 ある小項目の各点数は以下の 5 つの大項目に集約して集計した。

「人間性」 5.36 : 1. 倫理観 (5.14)、2. 他者への共感 (5.42)、3. 他者への支援 (5.53)

「専門性」 5.55 : 4. 専門性への興味 (5.60)、5. 学びのつながり (5.49)

「協調性」 5.66 : 6. 人とかかわる姿勢 (5.70)、7. 良好な関係作り (5.65)、8. 立場と責任の自覚 (5.63)

「創造性」 5.16 : 9. 探求心 (5.35)、10. 論理性 (5.12)、11. 創造性 (5.00)

「自己研鑽」 5.35 : 12. 省察と課題の発見 (5.28)、13. 発展性と継続的な努力 (5.42)

上記の結果からみて、5 項目のすべてにおいて中間点の 3.5 を 2 ポイント近く上回っており、本専攻が求める学生像に相応する学生が入学していることがわかった。

以上の結果より、2019 年度の入学生においては、「入学者受入れの方針に照らした入学者選抜の取り組み」として適切であったと判断した。また若干ではあるが、創造性の項目において論理性と創造性の小項目での点数が低い傾向にあるため、入学後の授業や演習、実習の中での学修を通じて、これらの向上につながる取り組みが必要と考える。

